

社会起業家やNPO / NGOとの連携

2013年8月8日

日本電気株式会社

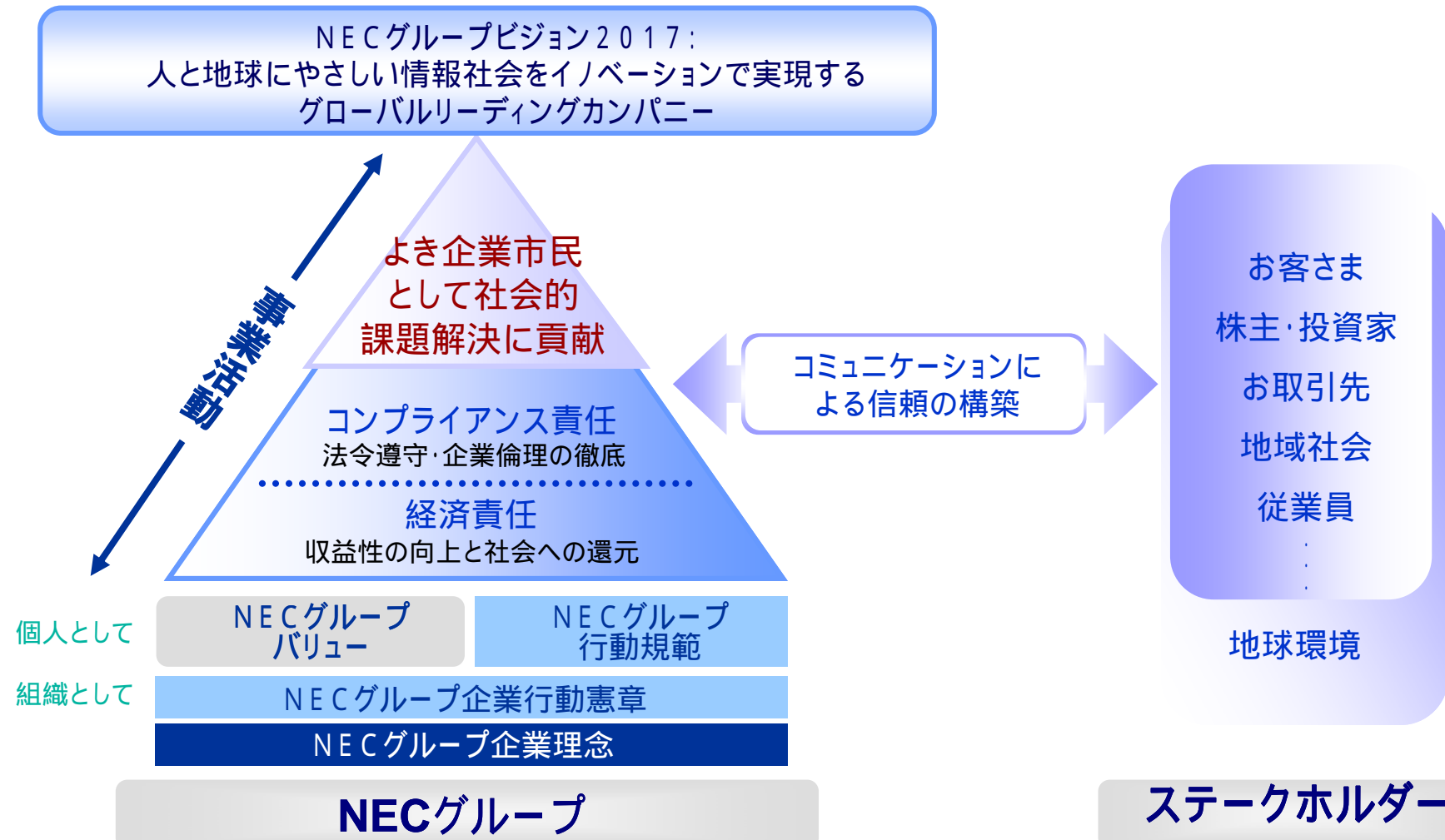
CSR・環境推進本部 CSR・社会貢献室

池田 俊一

- CSR / 社会貢献のフレームワーク

NECの考える社会的責任(CSR)

社会とNECグループの持続可能な発展



CSR経営の基本方針

- ・ リスク管理・コンプライアンスの徹底
- ・ 事業活動を通じた社会的課題解決への貢献
- ・ ステークホルダー・コミュニケーションの推進

優先的に取り組む7テーマ

ステークホルダー・社会の関心

- お客さまや社会の関心
- 「CSRレポート」への意見、SRI調査機関からの指摘、CSR規格化など

NECの視点

- 事業の社会や環境へのインパクト
- 企業理念・中期成長戦略
- 財務面、ブランドへの影響など

優先的に取り組む7つのテーマ

【事業活動をととして解決に取り組む社会的課題・ニーズ】

- 安全・安心な社会づくり
- 気候変動(地球温暖化)への対応と環境保全
- すべての人がデジタル社会の恩恵を享受
- 信頼性の高い情報通信インフラの構築

【事業活動を支えるための社内マネジメント】

- お客さまとの信頼関係の構築
- 働きやすい職場づくりとグローバルな人材育成
- リスクマネジメントの強化とコンプライアンスの徹底

- 社会貢献活動の基本方針

社会貢献活動の中期的テーマ

NECグループビジョン2017:
人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー



- 情報格差の解消
- 多様性に富む人材の育成
- 気候変動への対応と環境保全

社会貢献プログラム推進の基本方針

良き企業市民として、NECグループビジョン2017の実現に貢献する

経営資源の有効活用

- 経営資源：資金、製品、ひと、施設、情報・知識など
- 事業との関係性

NPO/NGOとの協働（パートナーシップ）

- Win-Winの関係にもとづく社会的課題解決の促進
- ソーシャルビジネスの創出の支援
- NPOの基盤強化の支援

グループ会社の連携と社員参加

- NEC Make a Difference Drive (MDD)の活性化
- 社員ボランティア活動の推進

企業イメージ・評判の向上に寄与

- NECの顔が見える活動
- 先進的な自主プログラム
- 情報発信の促進

企業にとってのNPO(NGO)とは

■ 企業経営の監視役として → CSR経営強化に

- 企業行動や製品に対するモニタリング
→ 企業行動批判、製品ボイコット、投資スクリーニング



■ 社会貢献活動のパートナーとして

- 支援の対象 → 協働 → 共創に
- 日本経団連調査結果:
 - ・ 社会貢献活動の有力なパートナー: 45% (99年度) 57% (05年度)



■ 社員の社会参加と能力開発の場として

- 地域社会へ参加する機会創出(ボランティアなど)
- 社員育成の機会創出(国際貢献や社会福祉など)

■ 事業活動でのパートナーとして

- 事業型NPO/NGOと連携した製品やサービス・ソリューションの開発
(例:ユニバーサルデザイン製品や途上国でのBOP市場開拓など)

- NEC社会起業塾

NEC社会起業塾(NPO法人ETICとの協働)

社会課題に事業で取り組む事業型NPO・ソーシャルベンチャーの育成と人づくり(若手起業家、3～5グループ/年)

2002年スタート

内容:

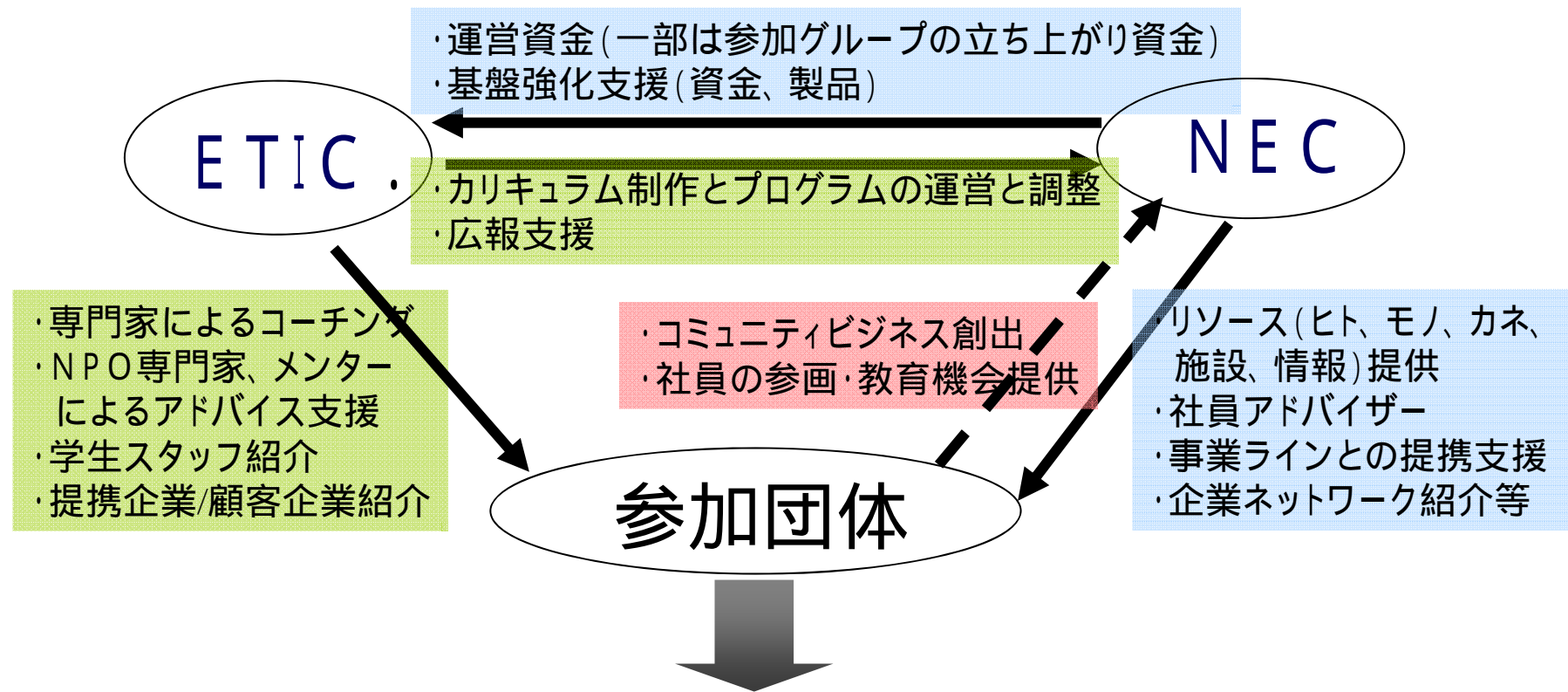
- 組織、事業の立ち上げと運営を通じて学ぶ実践的研修
- メンター制度とコーチングによるOJT(専門家、ベンチャー・NPO事業家等)
- 合宿研修などによる問題解決力とマネジメント力の養成
- NECのリソース提供による事業化支援、資金、製品、場所等の提供、社員専門家による個別指導、事業ラインとの提携支援等

研修期間: 約7ヶ月(9月～3月)

2010年度から「NEC社会起業塾ビジネスサポーター」(プロボノ)による社員参画スタート

ETIC./NECパートナーシップ(2002年～)

- お互いの強みとリソースを活かしたプログラム共同開発と実行
- ETIC. 基盤強化も支援

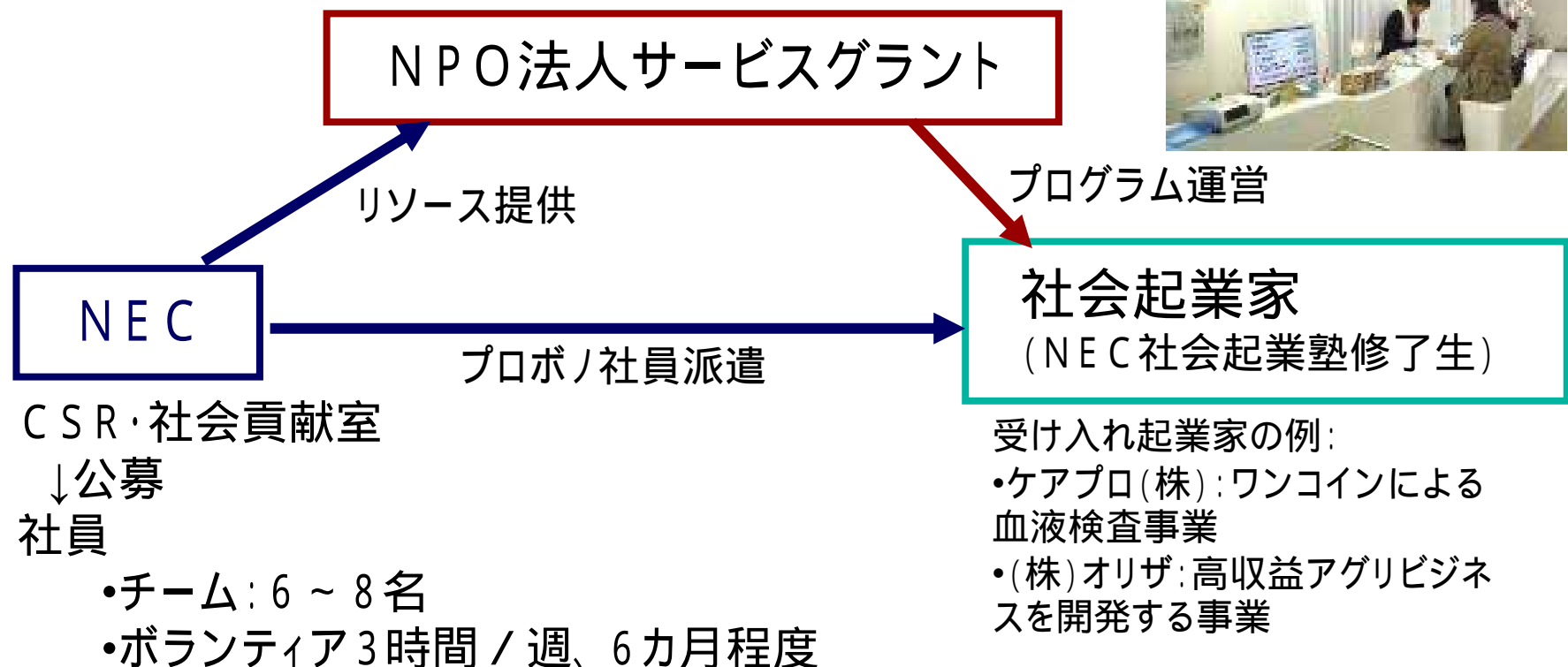


事業型NPO / ソーシャルベンチャーの起業、自立化

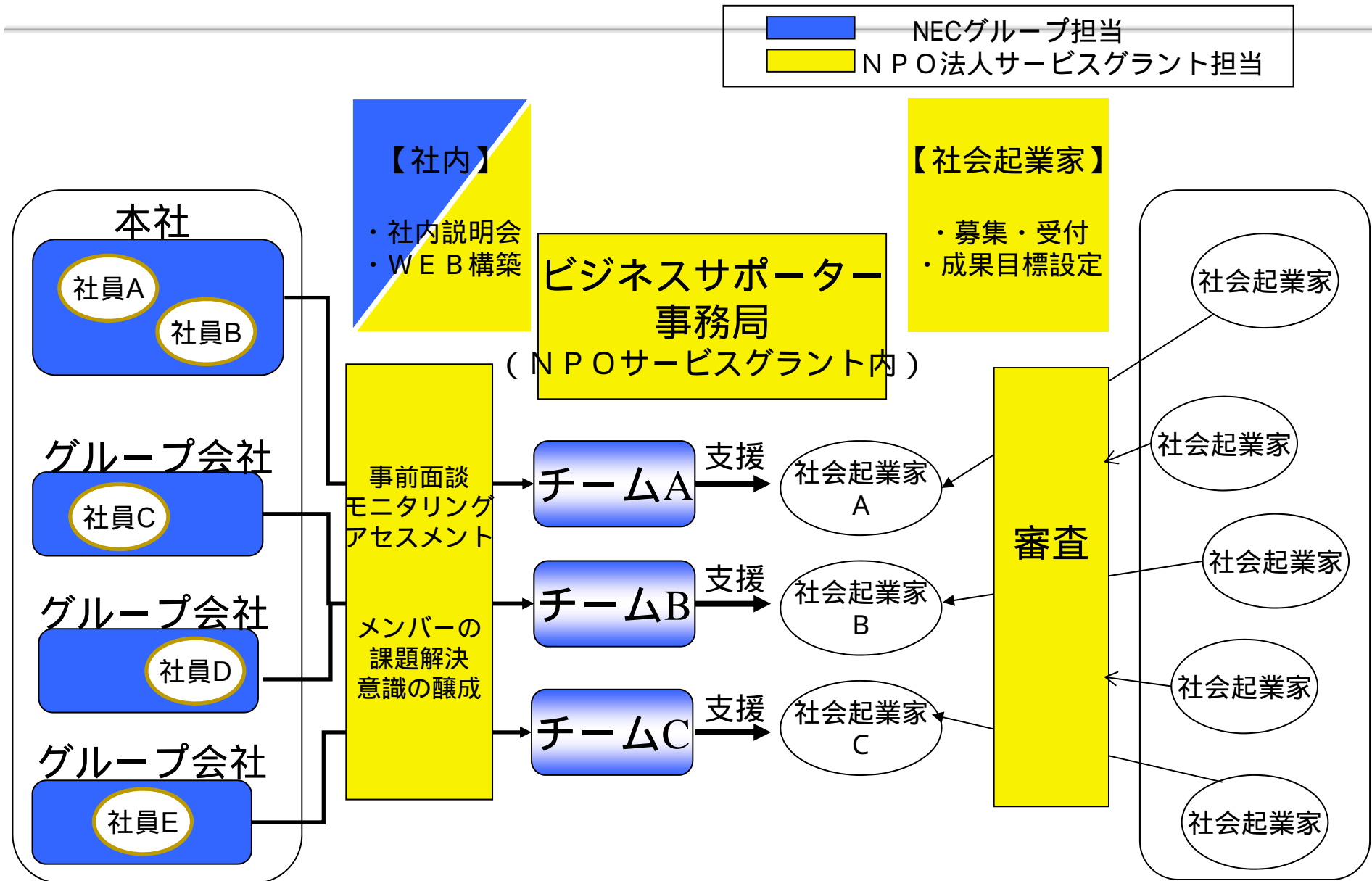
-
- NEC社会起業塾ビジネスサポーター(プロボノ)

NEC社会起業塾 ビジネスサポーター(プロボノ)

- 「NEC社会起業塾」修了生へのフォローアップの強化
- 社員の社会起業家への関わり・支援機会の創出
- 社員の社会変革現場への参画により、生活者視点の感覚を磨き、新たな製品やサービス・ソリューションの創出を促す



全体的な枠組み



NEC社会起業塾 ビジネスサポーターの支援内容(例)

■ 経営支援

- 中小企業診断士資格保有者による支援。

■ Webサイト構築支援

- 必要な情報を読み手の視点に立って分かりやすくまとめ、効果的に情報を伝えていく機能性と、人目を引くデザイン性を兼ね備えたWebサイトの構築支援。

■ 顧客管理支援

- 会員やボランティア、さらに支援者などの情報を、効率的・効果的に管理することは社会起業家にとって必須要件の1つ。企業と協働できるレベルのセキュリティを兼ね備えた顧客管理システムの開発と、個人情報保護法に基づく情報管理のガイドラインの作成などを支援。

参加者にとってのメリット

業務では得られない、多くの学び・気づきが得られる

- 社会変革の現場への参画により、視野が広がる
 - ・社会的課題に対する関心、興味が高まる
 - ・社会的課題に関する知識(最新の動向)が得られる
- 社会的課題に接することにより、その課題解決のためのサービス・ソリューション創出への新しい発想が得られる
- 社会起業家と接することにより、経営者視点の考え方を学び、業務では経営者視点で物事を捉えられる
- 今後につながる社内人脈の形成
- 一連の活動を通じて、業務の進め方の改善が図られる
 - ・業務の優先順位付け、効率化、質の向上
 - ・タイムマネジメント(時間管理)

- 社会起業家・NPO / NGOとの連携事例

ICTを活用した最先端農業開発

- 株式会社農業生産法人GRA / NPO法人GRAは、宮城県山元町で、主要産業であるイチゴを中心とした最先端施設園芸に取り組む。
- 2012年度、NECとGRAが連携し、GRAがNECの農業クラウドサービス・テレビ会議システムを導入することで、ともにICTを駆使した最先端農業技術の研究・革新を図り、イチゴ農家の収益を改善することで、東北の復興を目指す。



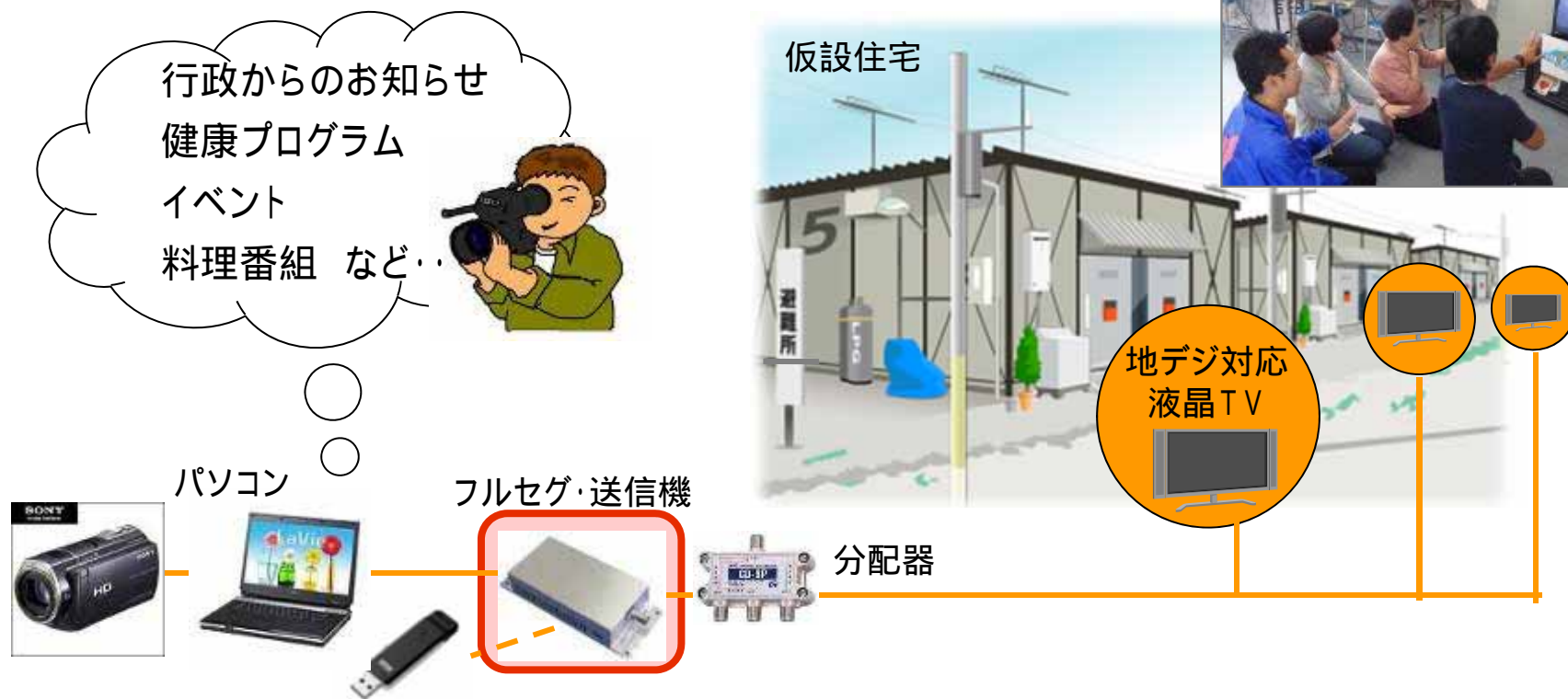
地デジTV活用コミュニティ形成支援システム

宮城県亘理町で
実証テスト中

NPO法人ICA文化事業協会と協働。

ご近所TV(顔の見えるTV)で、引きこもり防止にも効果。

- コンテンツを住民自ら制作し小型送信ユニットで地デジ対応TVに配信
- 仮設住宅85世帯に健康体操、イベントのお知らせ、町からの広報などを配信
- 手作りの番組でコミュニティ作りを支援



インドBOPプロジェクト

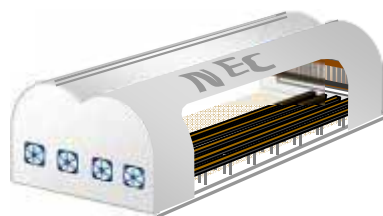
ミッション『スラムから美しい豊かな農村へ帰ろう』

農村部で雇用を創出することで、農村から都市に出て貧困層となった人々は農村へ帰り家族と共に豊かな暮らしができるようになる。

社会的課題をソーシャルビジネスを通じて解決すること。

CSVモデルへの足がかり*

* Creating Shared Value: 社会問題の解決と企業の利益を両立させる企業経営 (マイケル・ポーター)



養液栽培システムパッケージ

- ・養液栽培管理システム
- ・農業ITソリューション
- ・エネルギーソリューション



社会的課題解決
+ ビジネス創出

NEC+山元町
(農業生産法人GRAと連携)

栽培
技術



貧困層への
就労機会創出



インド農村
(NPO法人ICAと連携)



おいしい
安全・安心



都市富裕層



社会課題解決視点のグローバル人材育成プログラム

■ NPO法人クロスフィールズの留職プログラム(企業で働く人材を途上国・新興国のNPO等へ派遣し、一定期間、本業で培ったスキルを活かして現地の人々とともに社会課題の解決に挑むプログラム)をNECの研究所が導入(→R & D Frontier Program)。

■ 途上国・新興国の社会課題解決のための新たな事業の創出を目指す。

■ 2013年度は2名をインドへ派遣。

- インドの現地社会起業家とともに、農村部への流通サービスの改善活動に取り組む
- インドの現地社会起業家とともに、農村部の若者や障がい者の職業訓練・就労支援活動の改善に取り組む



新入社員向けCSR研修

CSR・環境推進本部および人事部が連携し、4月12日、NECの新入社員研修の一環として、社会貢献・環境活動体験@芝公園を実施。新入社員約350名が参加。
新入社員研修としては、初の取り組み。
NPO法人グリーンワークス、東京都公園協会と協働。



参加した新入社員の声

- ・会社は経済面、社会面両面から取り組む必要があり、NECがCSRに力をいれていること理解できました。
- ・CSRが社会的にそして会社の戦略として非常に有益なものであるということがわかりました。
- ・研修期間にCSR関係の活動に参加できると思わなかったので、びっくりしました。新鮮に感じましたし、研修全体の効果が上がると思いました。
- ・非常に強い興味を持って取り組むことができました。本社周辺の自然、歴史を知ることができ、もっと周辺に気を配って勤務したい。NECのCSRにひかれて入社した部分もあるため、今後も興味を持って取り組みたいと思いました。
- ・社会貢献は自らの日々のモチベーションの向上につながると感じました。

Empowered by Innovation

NEC